

2019 年度夏季海外研修（韓国語・韓国文化コース）研修レポート

社会福祉学部 Hさん

研修先：韓国(ソウル) キョンヒ大学

研修期間：9月1日～9月25日

【はじめに】

私たちは、9月1日から9月25日まで、韓国のソウル市にあるキョンヒ大学で韓国語を学ぶことができました。私にとって今回の研修は初めての飛行機で、初めての海外だったのでとてもドキドキしていました。当時は日韓関係がとても悪く、安全に生活できるか不安でしたが、実際に行ってみるとそんなことはなく、とても充実した留学生活を送ることができました。

【授業】

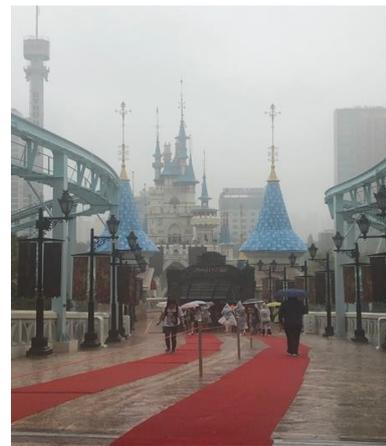
まず、韓国に到着した次の日にクラス分けテストが行われました。テストの内容は作文とスピーキングでした。面接のときは少し緊張していたのですが、面接官の人が笑顔で優しく接して下さったので、楽に面接を受けることができました。私は、ほとんど韓国語が分からなかったので初級のクラスに配属されました。授業はほとんど韓国語で行われますが、私のクラスは全員日本人であり、先生が日本語を少し話せたので、時々日本語を交えながら分かりやすく授業を進めてくれました。授業は基本的に9時から13時までで、4コマありました。週に1・2回午後には文化特攻があり、韓国の歌・ドラマ・遊び・礼儀を学びました。実際に韓国の歌を歌ったり、韓国の遊びを体験したりすることができました。また、2回ほど現地学習があり、私たちはロッテワールドと水族館と博物館とソウルタワーに行きました。どの場所も初めて行くところだったので、とても楽しかったです。また、クラスの人と行動したので仲を深める良い機会になりました。



↑ソウルタワー



↑ロッテアクアリウム



↑ロッテワールド

【生活について】

寄宿舎は大学の最寄りの駅の近くにあり、部屋は二人部屋でした。比較的綺麗で洗濯機やIHや暖房やWi-Fiも設置されていたので生活しやすかったです。しかし、トイレトペーパーや料理するための鍋や

箸やゴミ箱はなかったので近くの 100 円ショップで購入しました。寄宿舍の近くにはコンビニや屋台や飲食店が多くあったので食べ物に困ることはありませんでした。100 円ショップも近くにあったので生活の必需品などはそこで購入しました。また寄宿舍のセキュリティはパスワード制で、寄宿舍に入る時、個人の部屋に入る時はそれぞれパスワードを入力する必要がありました。

換金については、仁川空港では時間がなく換金することができませんでした。空港での自由な時間はほとんどなかったので、あらかじめ日本で換金しておく必要があったと感じました。

【自由時間】

平日は学校が 13 時で終わったり土日は休みだったり韓国のお盆があったりしたので、自由な時間はとても多くありました。韓国のお盆（チュソク）では、閉まっているお店が多かったのでスマホなどで開いているお店を探して遊びに行きました。

私が印象に残っているのは、京福宮に行き、チマチョゴリを着たことです。チマチョゴリはあらかじめサイトで予約してお店に行きました。自分の好きな柄のチマチョゴリを選んだり、髪を無料でセットしてもらったり、バックを無料で貸してもらえるお店だったのでとても良かったです。料金も 2 時間 30 分で 3000 円程度だったのでお手頃でした。京福宮に行った日は休日であったためかとても混んでいました。しかしチマチョゴリを着て京福宮に行き、光化門での守門将交代式を見たり王宮を見たりして韓国の歴史や文化に触れることができました。



↑ 京福宮

【韓国料理】

韓国料理はとても美味しく、日本と比べると安くて量が多かったです。また、無料でキムチや前菜やスープをいただけるお店が多くありました。私は韓国料理はとても辛いというイメージがありました。実際はとても辛いというわけではなく、美味しい辛さだったのでとても食べやすかったです。特に焼肉は一人 1000 円程度でお腹いっぱい食べることができるのでオススメです。また、私が印象に残っているのは東大門の近くにあったユッケのお店です。一皿 1500 円で少し値段が高めですがとても美味しく感動しました。日本ではたくさんのユッケを食べる機会がないのでとてもいい経験になりました。

学食は、メニューが豊富で美味しかったです。400 円程度で満足のいく量を食べることができました。学食でもキムチや前菜を無用でいただくことができます。



↑ユッケ



↑学食



↑チヂミ

【まとめ】

留学生生活を振り返ってみると、あっという間の 25 日間でした。毎日が新しく新鮮なばかりでとても充実していました。語学力が向上するだけでなく、韓国の文化や常識についても理解することができました。また、韓国の良さ、日本の良さに気づくことができました。実際に韓国で生活することで、日本の常識と韓国の常識では少し違う部分があることに気づきました。どちらの文化や常識が良いとかではなく、どちらの文化も良いところがあり尊重することが大切であると感じました。この留学で学んだことを生かして、これからも韓国語の勉強を継続して、機会があったらもう一度韓国に行ってみたいです。

私は2019年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。9月1日から9月25日までの3週間、慶熙大学の寄宿舎に滞在し大学で韓国語や韓国文化について学びました。

今年は日韓関係が非常に悪く、無事研修を終えることができるか不安でしたが、実際に行ってみるとそんなこともなく楽しい3週間で過ごすことができました。

【授業】

初日にクラス分けテストがあります。テストは作文と面接がありました。韓国語が全くできない人はテスト前に言えばテストを受けずに自動的に一番下のクラスに配属されます。クラスは全部で15クラスありました。

私のクラスは8班だったのですが全員日本人でした。外国人がいるクラスもありました。1クラス11~12人の少人数クラスでした。初回の授業を受けてみてクラスのレベルが合わないと感じた人は担任の先生に相談すれば変更してもらえます。授業は1コマ50分で1日4コマです。(9時から13時まで)文化特講がある日は16時まで、現地学習がある日は17時から18時ころまでかかります。文化特講は全部で4回あり、歌、礼儀、ドラマ、遊びについて学びました。

授業はすべて韓国語で行われますが、先生が簡単な単語でゆっくりと話してくれるので十分理解できました。

【トウミ】

留学生3人に1人の韓国人学生がつかます。2回ほど一緒に昼食をとりカフェに行きました。私のトウミは日本語が話せない人だったのですが、英語がペラペラだったので韓国語で理解できないときは英語で話してくれました。韓国語を話す練習になって楽しかったです。

【現地学習】

研修中に2回行われました。朝、大学に集合しクラスでバスに乗って現地に向かいます。1回目は、ロッテワールドに行きました。午前中は水族館に行き、午後は遊園地で遊びました。2回目は、博物館とソウルタワーに行きました。お昼はポッサムだったのですがとても美味しかったです。

【宿舎】

大学の最寄り駅である回基駅近くの寄宿舎に滞在しました。部屋は2人で1部屋でした。トイレ、シャワーは各部屋にありました。テレビは共有スペースにあったと思います。部屋は基本的に同じ大学の人の同じ部屋になると思いますが、奇数で余ったりすると違う大学の人と一緒にすることもありますが、出ですぐのところにコンビニがあり、周りには多くの飲食店があるので食べ物には困らないと思います。洗濯物を干す棒があるところとないところがあったり、Wi-Fiがつながりにくかったり部屋によっていろいろ違いがあるようです。トイレトーパーがないので自分で持っていくことをお勧めします。キッチンや電子レンジはありますが、鍋やお皿、箸などは一切ないので自分で持っていくか現地で買ってください。

【自由時間】

授業が13時に終わるので友達や一人で行っていました。授業が遅く終わる日は近くのお店を見て回りました。韓国の地下鉄は表示を見れば迷うことなく乗ることができました。初めて乗ったときは友達についていただけでしたが、慣れれば一人で乗ることができました。以前から連絡を取っていた韓国人と遊んだり、韓服を着て景福宮に行ったりと楽しかったです。

【その他】

空港についてから迎いのバスが来るまでに時間があると思っていたのですが、ついてすぐバスに乗らなければいけなかったです。あらかじめ1万円くらいは換金していったほうがいいかもしれません。

【まとめ】

今年は日韓関係が悪かったので不安もありましたが、実際に行ってみると日韓関係の悪さを感じることはありませんでしたし、日本語が通じるところもあるので楽しく過ごすことができました。

初めての海外だったので3週間滞在するのは不安でしたが、事前に先輩方のレポートを読んだり、ネットで調べたりすることでしっかり準備することができたので良かったです。

今回この研修に参加して本当に良かったと思いました。韓国語を勉強するモチベーションが上がりました。自分の韓国語でも通じることを実感できたし、反対に発音がまだまだ甘い部分があることも感じたのでこれからの勉強を頑張りたいと思います。

私は9月1日から9月25日まで「2019年度海外研修【韓国・韓国文化コース】」に参加し、慶熙大学で、韓国語と韓国の文化を学びました。

〈クラス分けテスト〉

クラス分けテストは、筆記と面接があります。韓国語の読み書きが全くできない人は、テスト開始前に申請すれば自動的に初級1クラスに配属されます。少しでもできる人は、テストを受け、自分のレベルに合ったクラスに配属してもらいたいと思います。筆記は、6つの題材の中から1つを選択し、指定された文字数内で記述するというものでした。初級の項目でも、200～300文字が指定されていました。面接では、「名前」「韓国語の勉強を始めた時期と理由」「独学か否か」「故郷はどこか」「ソウル市と比べて岩手県はどうか」「自分自身では何級のクラスが相当だと思うか」等、短い時間でしたが、多くのことを聞かれました。

〈授業〉

クラス分けテストの結果、私は中級1クラスに配属されました。万が一、自分のレベルと配属されたクラスのレベルが合わなかった場合、申請すれば変更が可能です。最終的に私のクラスは、日本人15人、エチオピア人1人の、計16人になりました。

韓国語の授業は1コマ50分で、1日4コマあります。「文法」、「聞く」、「話す」の項目を、教科書に沿って進めていきました。私の場合、わからない単語の意味を調べるために、寄宿舎での予習は欠かさずに行っていました。また、全4回の文化特攻では、韓国のドラマ、歌、遊び、礼儀作法を、実際に見聞きしたりやってみたりしながら、楽しく学びました。

〈現地学習〉

今回は、1回目にロッテアクアリウム（水族館）とロッテワールド（遊園地）、2回目にNソウルタワーと国立博物館に行きました。もちろん、水族館、遊園地、タワー、博物館は日本にもありますが、実際にこの目で見て、耳で聞いて、体験してみると、日本と韓国には差異があることがわかりました。また、先生やクラスメートと親睦を深める良い機会になりました。

〈トウミ〉

慶熙大学にはトウミ制度があります。トウミ制度とは、学生3～4人に対し、慶熙大学の韓国人学生が1人割り当てられ、交流を図るというものです。私のグループは、1回目は、慶熙大学周辺の韓国料理屋とカフェに、2回目は、ソウル駅周辺にある美術館に連れて行ってもらい、韓国語で会話を楽しみました。

〈自由時間〉

放課後や休日等の自由時間は、ほとんどと言っていいほど出掛けていました。同じ大学の友達と遊ぶこともあれば、この研修を通して知り合ったクラスメートや、韓国の友達と遊ぶこともありました。シ

ショッピングや食事はもちろん、映画を見たり、カラオケに行ったりもし、学んだ韓国語を活かしながら、充実した時間を過ごすことができました。

〈寄宿舎での生活〉

韓国にいる間は、昌徳安という寄宿舎で過ごしました。寄宿舎は基本的に2人1部屋で、基本的な設備は揃っています。備品はほとんどないため、日本から持ち寄るか、現地で購入する必要があります。そのため、不便を感じることも多々ありました。

寄宿舎の近辺には、スーパーやダイソー、ドラッグストアがあり、そこで備品を購入することが可能です。

〈まとめ〉

私はこれまでに7回ほど韓国へ旅行に行きましたが、研修という形で行くのは初めてだったので、とても新鮮でした。はじめは3週間強の滞在に長いともありましたが、3週間強の滞在だからこそ、これまでの渡韓では行くことができなかった地域へも、時間を気にせずに行くことができました。また、同じ大学の人はもちろん、出身国や出身地が違う人とも、共通の関心事を通じて親睦を深めることができたのも、この研修に参加したからこそその収穫だと思います。

最後に、今回の研修は、日韓の関係が冷え込んでいる時期であったため、私自身も不安でしたが、普段の生活の中で、それを理由に不利益を被ることは、全くと言っていいほどありませんでした。これまでの渡韓でも、今回の研修でも、出会う韓国人は皆親切だったという印象です。重要なのは、韓国の文化を軽視するような言動をしたり、デモを行っているところに軽率に出向いたりせず、日韓の関係に敏感になり、文化の違いを尊重することだと思います。そのような面でも考えを深めることができる、とても有意義な研修だったと思います。

私は、9月1日から9月25日まで韓国のソウル市にあるキョンヒ大学で研修してきました。

『キョンヒ大学』

授業は月曜日から金曜日まで毎日1コマ50分×4で行われました。授業はだいたい13時で終わり、文化特講という韓国の歌やドラマ、遊びや礼儀などを学ぶ授業がある日は終わるのが16時でした。授業のクラス分けは最初にテストと面接がありますが、わからない人は申請すればテストを受けずに初級のクラスに配分されるので、心配しなくても大丈夫です。私は、ハングルからわからなかったのが初級のクラスで勉強しました。最初はハングル文字の書き方、読み方から勉強していった基本的な単語、文法を覚えたり、よく使うフレーズなどを学びました。先生はほとんど韓国語で話すので最初は何を言っているのかわからなかったりしましたが、だんだん習った単語が出てきてわかるようになってとても楽しかったです。

『現地学習』

2回ほど現地学習があり、ロッテワールドのアクアリウム・アドベンチャー、Nソウルタワー、国立博物館に行きました。ロッテワールドは行ってみたかったので行くことができよかったです。Nソウルタワーから景色を眺めたり、博物館で韓国の歴史を感じることもできました。

『現地の生活』

韓国にいる間は寄宿舎で生活しました。部屋は2人部屋で同じ大学の人と同部屋でした。2段ベッドに、シャワー、トイレなどがありきれいな部屋でした。ですが、調理器具や食品、飲み物はないので、近くのコンビニやダイソー、スーパーで買っていました。韓国の食べ物は本当に辛いものが多く、辛くないものは数少なかったと思います。寄宿舎のある回基(フェギ)には屋台なども多く、夜までとても賑わっていました。

『自由時間』

授業が終わった後の午後や土日は地下鉄を使って観光地などにショッピングをしに行ったりしました。明洞、弘大、江南でコスメや服を買ったり、おいしい食べ物をたくさん食べたり、景福宮で韓服を着て写真を撮ったりなど楽しい経験ばかりでした。韓国の地下鉄はとても安く気軽に出かけることができました。また、日本人3人に対してトウミといわれる1人ほど韓国人の方がついて韓国のおすすめの所と一緒にいたりすることがあり、韓国人の方と交流することもできました。

『まとめ』

今回の研修を通してたくさんの出会いとともにとても充実した日々を過ごすことができました。日韓関係の不安もありましたが、私が出会った韓国人の方々はとても親切で優しい人ばかりでした。私は韓国のアイドルやドラマが好きで授業で韓国語の基礎を学んでいくうちに少しでも分かる言葉が増えていくことがすごく楽しかったです。韓国が好きの人、興味がある人にはぜひ経験してもらいたいです。

私は、9月1日から9月25日も約3週間、2019年度海外研修「韓国・韓国文化コース」に参加しました。

【 授業 】

私はハングルの読み書きに自信がなく韓国語が全く出来なかったため、クラス分けテストには参加せず、一番下のクラスに行きました。一番下のクラスの授業でも授業は全て韓国語で行われるため、最初の方は先生の指示が理解できず苦労しました。しかし、授業の予習、復習を毎日行い、だんだん授業内容や先生の指示を理解できるようになり、楽しくなっていました。

【 トウミ 】

トウミとは、留学生2～3人に対しキョンヒ大学の学生1人が付き、サポートしてくれる制度です。私たちのところは留学生2人に対してトウミが1人でした。私たちのグループは、景福宮やオリンピック公園、ロッテタワーに行きました。また、日本人だけでは入りづらいような路地裏にある飲食店に連れて行ってもらいました。トウミの方との会話は全て韓国語で、なかなか会話がうまくできませんでした。翻訳機を使いながらの会話になってしまい、とても申し訳なかったです。実際に現地の方と会話をして、「もっと韓国語を話すことができれば…」と何回も思いました。韓国語の勉強を頑張ろうと思うきっかけになりました。

【 自由時間 】

授業がない休日や午前中で授業が終わる日は、ショッピングや聖地巡りをしました。韓国はとても物価が安く、服はほとんど1000円で買うことができます。また、化粧品の種類が豊富で日本で買うより200円程安く買うことができます。明洞に行くと、必ずパックをすすめられますが、安くてつけ心地も良いためぜひ買ってみてください。

私はtwiceがとても好きで、JYP Entertainmentに行きました。一階にあるカフェには、大きいスクリーンがあり、所属しているグループのMVを見ながら、食事をとることができました。とても幸せな時間を過ごすことができました。

【 まとめ 】

韓国に行く直前に日韓関係が悪化し、とても不安でしたが、実際に韓国に行ってみると、店員さんが日本語で話してくれたり困っているところを助けてくれたり、とても優しい方がたくさんいて、3週間一度も嫌な思いをすることなく楽しく過ごすことができました。この研修に参加して本当に良かったと思いました。

私は9月1日から25日の約3週間、2019年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。

〈参加理由〉

私は、中学生の時にK-pop アイドルを好きになり、彼らがどんな内容を話しているのか分かるようになりたいと思い、ハングルを勉強し始めました。しかしあまり勉強する時間がなく、今回の研修で韓国語を聞いたり読んだり話したりできるようになりたいと思い、参加しました。

〈授業について〉

私は手違いでかなり上のレベルのクラスに入ってしまった。その後希望通りのクラスに入りましたが、変更後のクラスの先生は日本語を話せる方でした。ハングルの読み方、書き方からしっかり教えてくれるクラスもあるので韓国語初心者の人でも気軽に参加できます。また、基本的に授業は13:00までで土日はしっかり休みだったので、自由時間が結構ありました。

〈自由時間について〉

前にも述べた通り、自由時間は結構あったので、好きなことを沢山できました。私が研修で行ったときは、「秋夕」という日本でいうお盆休みのようなものが平日にありました。しかし、その期間は日本とは異なり、閉まっているお店が多かったです。

〈注意したほうが良いこと〉

大学の寄宿舎があった回基や観光名所が多いソウルなどほぼすべての場所で車の交通量が多く、信号が青になっていないのに走り出す車やスピードを出しすぎている車、信号がない道路で止まってくれない車が多かったり、歩道をバイクが走ったりしていました。日本ではありえないことですが、韓国ではそれが一般的なので自分自身が気を付けることが大事です。

また、明洞は日本人の観光客がとて多く、店員さんもほとんどの人が日本語を話すことができ楽しい場所です。しかし、日本人だとわかれた途端に執拗についてきて強引に商品を買わせようになります。もし、そのような状況になったら、「待ち合わせをされていて、急いでいかなければならない」と言うことがおすすめです。

〈まとめ〉

私は、この研修で全国または海外の大学生や現地に住む方々と接して、自分の考え方や、学び方に関してとても刺激を受けました。また、K-pop アーティストがきっかけで好きになった韓国に実際に行ってみて、反日感情を感じることもあり、ただ韓国が好きというよりも、日韓情勢について踏まえたうえで改めて韓国が好きだと感じました。現地の人々のやさしさに触れ、とても温かい気持ちで約3週間で過ごしました。この研修に参加してとてもいい経験になりました。

私は、9月1日から25日の3週間、2019年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。

〈授業〉

初日に入校式とレベルテストがありました。レベルテストでは筆記と面接をしましたが、先生方が優しく対応してくださったため、緊張せずに受けることができました。授業は振り分けられたクラスで行われ、約10人ほどでした。すべて韓国語で授業を進めますが、自分のレベルにあっていたので楽しく学ぶことができました。また、文化特講というのがあり、そこではドラマや歌、礼儀などを学びました。

〈現地学習〉

有名な観光地に行く現地学習では、ロッテワールド・ロッテアクアリウム、Nソウルタワー・博物館に行きました。時間が短いのであつという間に感じましたが、とても楽しく様々な体験ができ、クラスの人とも仲を深めることができました。

〈トウミ〉

今年は3人に1人の韓国人がつき、お話しできる機会がありました。私は、3週間の間で2回一緒にご飯を食べに行きました。現地の人と十分に韓国語で会話をすることができ、また、韓国のおすすめの場所や食事についても教えてくれて、とても勉強になりました。

〈自由時間〉

授業のある日は13時で終わり、休日もあるので遊べる時間がたくさんありました。韓国の地下鉄は色ごとの線で分かりやすく、安いため、ほとんど毎日ご飯を食べに行ったり、ショッピングに行ったりしていました。日本語が通じるところも多いですが、明洞など日本人観光客が多い場所の店員さんはしつこくついてきたり、話しかけて勧めてくるので、買い物をするときは気を付けたほうが良いと感じました。また、景福宮に行きチマチョゴリを着たり、伝統的な体験もできました。

〈食事〉

学校が午後もある日は、学食を利用しました。また、普段はチキンやトッポッキなどテイクアウトしてみんなで宿舎で食べたり、韓国の有名な料理を食べに行ったりしていました。学校や宿舎の近くにも沢山のお店があったので、食事に困ることはありませんでした。

〈その他〉

国際的な問題で心配されることもありましたが、現地の人はとても優しく、3週間充実した日を過ごすことができました。

韓国研修について

私にとっては初めての韓国、初めての海外でした。今年は日韓情勢も悪く、その中での渡韓だったので、正直不安は大きかったです。現地の人に日本人だとわかられてしまったら心ない言葉をかけられてしまうのではないかという心配もあったのですが、実際に行ってみると心温かい方ばかりだったのでとても安心して過ごすことができました。

大学でテストを受け、私は14組（中級2）のクラスに編成されました。14組には、日本人6人、台湾人2人、インドネシア人1人、ウクライナ人1人、ブルガリア人1人という多国籍なクラスでした。よって、母国語禁止という雰囲気生まれ、基本的にお話をするときは韓国語を使って意思疎通をすることができました。おかげで普段からたくさん韓国語を使う機会があり、韓国語のボキャブラリーを増やすことができました。授業も先生がすべて韓国語で説明してくれたので、韓国語を韓国語で学ぶことができました。

文化特講の授業では韓国のドラマや歌、伝統的な遊びや礼儀について学びました。特に、礼儀の授業では日本と異なる食事マナーが多く、日本では礼儀正しくても韓国ではマナー違反なことが多々あり、日本との文化の違いを痛感しました。

トウミ制度では、日本人3人に対して韓国人1人のトウミがついてくれ、一緒に食事を楽しみました。日本人では入りづらい、地元感あふれるお店に連れて行ってもらいました。韓国料理を食べながら日本のことについて教えたり、韓国のことについて詳しく教えてもらったり、異文化理解を深めることができました。

休みの日などはクラスメイトと明洞やホンデ、漢江などに遊びに行き、貴重で忘れがたい思い出を作ることができました。

3週間という本当にあつという間の時間でしたが現地の皆さんのおかげで、何不自由なく有意義な時間を過ごせました。本当に行ってよかったと言えるし、是非来年も研修を行ってほしいです。

2019年度海外研修韓国コース
個人研修レポート

私は9月1日から9月25日の約4週間、2019年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国・韓国文化コース」に参加しました。

【クラス分けテスト】

初日の入校式の後、クラス分けテストが行われます。私は韓国語を基礎から学びたいと思ったため、試験は受けませんでした。受けなければ、基礎の初級クラスになるので、自分の希望に合った授業を受けることができました。事前にテストを受けるかどうかの確認がされるので、自信がない人や基礎から学びたいという人はおすすめします。また、テスト後のクラスが割り振られた後でもクラスの変更は可能なので、テストには気楽に臨んで良いと思います。

【授業】

授業は月曜日から金曜日まで、1コマ50分が1日4コマです。大学で購入する教科書を使って、韓国語の文法・リスニング・スピーキングについて学びました。クラスは日本人13人とマレーシア1人の14人で、先生は2人でした。先生はとても優しく、毎回丁寧に教えてくださいました。また、週に1回、午後に文化特講がありました。文化特講では韓国のドラマ・歌・遊び・礼儀作法について学習します。動画を観たり、歌ったりといった自分たちで体験しながらの授業だったので、楽しかったです。

【現地学習】

週に1回、ソウルの有名な観光地に日がありました。今回の研修ではNソウルタワー、国立中央博物館、ロッテアクアリウム、ロッテワールドに行きました。どれもみんな楽しくて、更にクラスの人とも仲良くなれる機会になりました。

【トウミ】

トウミと呼ばれるキョンヒ大学の韓国人学生と交流できる制度があります。2,3人の学生につき、1人のトウミがつきました。2回カフェで会い、そのあと1度漢江を案内してもらいました。現地の同年代の学生とお話しできたことは自分にとって良い経験になりました。

【自由時間】

学校は午前で終わる日がほとんどで、休日も休みなので時間は十分ありました。韓国の地下鉄はとても安いです。同じ路線であれば、どこまで乗っても値段は変わりません。これにはとても驚きました。地下鉄を利用して景福宮や漢江、梨大や弘大に行きました。すべてが新鮮で、キラキラした光景をたくさん見ました。

【まとめ】

この韓国での4週間は私にとって、忘れられない経験になりました。行く前はとても不安で、特に日韓の関係性がかなり悪い時期だったので、家族にも行くのを心配され、自分自身も考え直そうかと思いました。ですが、実際行ってみると反日の雰囲気は全く感じませんでした。ごく普通に接してくれますし、優しかったです。

また、自身の語学に対する意識も変わりました。韓国語はもちろんのこと、英語の重要性も感じました。買い物に行った際、店員さんが値段を伝えてくれるのですが、早口でなかなか聞き取れず、苦勞しました。そのような時、英語は本当に役に立ちます。韓国の方とコミュニケーションをとるとき、韓国語よりも圧倒的に英語を使っていたと思います。韓国語の勉強にも、英語の勉強にも力を入れていきたいと感じ、自分を高められる機会になりました。

個人的に来年参加する方に向けて、アドバイスしたいことは2つあります。1つは、換金は明洞ですることです。私は日本にいるうちにウォンに換金したのですが、明洞で換金するのが一番安く済みます。2つ目は、クレジットカードを作ることです。クレジットカードがあれば、前述の通り会計の際聞き取れなくても何とかできます。また、その日のレートによりますが、大抵日本円に換算したとき、安くなっていたのでおすすめです。どちらもお金に関することですが、大事だと思うので参考にしていれば幸いです。